

平成 2 8 年大磯町議会

6 月定例会一般質問（6 月 1 3 日・1 4 日）

質問議員	質 問 事 項（ 1 日 目 ）	答弁者
1 8 番 清田 文雄議員 (45 分) 9:05～9:50	1. 大磯町の防災対策について 4 月 14 日、16 日に熊本県を震源とした、平成 28 年熊本地震が発生して、数多くの犠牲者と文化財・公共施設・一般家屋・インフラ等に多大な被害が出た。今回の地震は、津波の被害は無かったが、私達に、又、町にとっても新たな課題を沢山突きつけられた災害であった。昨年 9 月定例会でも質問したが、再度、本町の防災対策について問う。 そこで、プランの以下の事項について問う。 (1) 避難行動要支援者名簿と個別計画について。 (2) 業務継続計画（BCP）の策定について。 (3) 公共施設の耐震の再点検について。 (4) 8 月 21 日大磯町総合防災訓練について。 2. 公共下水道について 5 月より新たに国府新宿の一部の下水道が整備され、運用が開始された。大磯町の公共下水道事業は平成 2 年、下水道法と都市計画法の事業認可を得て高麗・東町地区より始まり現在に至っている。公共下水道は、清潔で快適な生活環境を築くためだけでなく、河川や海などの水質汚濁を防止し、貴重な自然を守るとともに、大雨などによる浸水を防ぐなどの役割を担う、町にとっても重要な事業と思うが、そこで、以下の事項について問う。 (1) 大磯町公共下水道中期ビジョンにも示されているが平成 27 年度までの整備状況は。 (2) これからの整備予定で、市街化調整区域を含む事業計画が完結するのはいつ頃か。 (3) すでに下水道管が敷設された地域の接続率と接続促進策は。 (4) 事業区域外の地域の流入については。	町 長 町 長
2 1 番 坂田よう子議員 (60 分) 10:10～11:10	1. 大磯港みなとオアシス推進事業の展望を問う 懸案であった大磯港を取り巻く課題に関する町の考えが集約され、今年度当初予算において、「大磯港みなとオアシス推進事業」として、基本構想策定業務の委託料が計上された。今事業の展望を明確に伺う。 (1) 基本構想策定業務委託の目的と内容について。 (2) 今後の実施スケジュール等について。	町 長

6 3 番 関 威國議員 (40 分) 16 : 10 ~ 16 : 50	1. 西小磯に山積みしてある産業廃棄物は、不法投棄ではないか、原状回復の取組みは 幹線 18 号線沿道の西小磯字山ヶ谷には、産業廃棄物のがれき、プラスチック、木材、畳などの混合廃棄物が山積状態で放置されてある。 丘陵の緑と紺碧の海などの自然の美しさや、県指定の天然記念物「アオバト集団飛来地」として知られ、グリーンツーリズムを進める大磯町にとってはイメージダウンである。 この地域は緑の美しい丘陵に囲まれ、ハイキングやサイクリングのコースとして多くの人が訪れ、NPO 法人が休耕田で稲作栽培している近くでもある。破損したフレコン・バッグで山積みされた産業廃棄物は景観を害し、周囲の囲いも不十分で地震や台風などで、町道に崩落する危険性もある。観光型農業の場としてはマイナスである。 また、有害物質などが流出し周辺の土壌が汚染されていると、農作物への影響も心配である。早期に撤去させ原状回復しなければならない。そこで下記について質問する。 (1) 産業廃棄物が山積みされた経緯は。 (2) 不法投棄ではないのか。 (3) 有害物質の流出はないか。 (4) 原状回復の取組みは。	町 長
---	---	------------

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答弁者
7 9 番 玉虫志保実議員 (60 分) 9 : 00 ~ 10 : 00	1. 大磯町立中学校給食について (1) 大磯町の食育として、現在実施されているデリバリー給食を通して中学生に身につけて欲しい食習慣や理解して欲しい食文化とはどういうものか。 (2) 町の栄養士が作成した献立がレシピ通りに作られているのか。業者主導になっていないか。 (3) 選択制を選んでいる学校が多いなか、なぜ大磯は選択制にしないのか。選択制にしない本当の理由は何なのか。 2. 大磯駅前洋館について (1) 大磯駅前洋館（旧木下家別邸）の賃貸借契約が平成 29 年 7 月 31 日に満了を迎える。1 回に限り再契約（期間：5 年間）を行うことができるかとあるが、町は再契約を行うのか。 (2) 建て物の維持管理は適切に行われているのか。 (3) 町、町民にとってのメリットはどのようなものがあるか。 (4) 契約満了後の利用についてはどのように考えているか。	町 長 教育長 町 長
8 1 2 番 鈴木 京子議員 (90 分) 10 : 20 ~ 11 : 50	1. 小中学校にエアコン設置を 児童・生徒・教員が勉強に集中できる環境づくりが必要だ。県下ではエアコン設置を進める自治体が増えている。町長・教育長の考えを問う。 2. P T A 会費と教育予算の関係を正すべきではないか 町長は教育予算の計上は十分との認識のようだが、P T A 会費の一部が本来町で持つべきものに使われているのではないかと。町長・教育長の所見を問う。 3. 大磯駅前再整備における町民参画の具体策は 町の本庁舎の耐震補強工事の内容や、アスベストの見落としなど、歴代町長も含め問題があると考えます。 直近ではリサイクルセンター基本設計の遅延、町長・副町長の滄浪閣の外務省幹部の案内等、理解し難いことが起きている。 駅前エリアの再整備については、旧駐輪場の解体が予定通り進まない、町道 48 号線の石垣調査の事故繰越し、J R との協議、まちづくり基本計画の変更などを行う中で、全体像が見えず疑問に思う。 町民の参画について、自治基本条例をどのように活かし保障していくのかを問う。 4. 恒道会のサービス提供の見通しは 神奈川県による特別監査が行われたが、町はその内容についてどのように県と協力体制を構築していくのか。特養やショートステイの空ベッド対策も含め、具体策を問う。	町 長 教育長 町 長 教育長 町 長 町 長

9 2 番 竹内恵美子議員 (50 分) 13 : 00～13 : 50	1. 地震対策について 熊本県益城町に震度 7 の地震が 4 月 14 日、16 日の夜と 2 度もあった。東日本大震災を踏まえ、内閣府は昨年度から、未整備だった避難所運営のガイドライン作りに着手した。これを取りまとめる直前に熊本地震が発生したため、急きょ予定を前倒しして 17 日に公表した。ガイドラインでは、平時から取り組むべきことや、災害発生後にやるべきことを具体的に列挙している。誰がどのタイミングで何をするかといったチェックリストもあり、避難所運営の中心となる住民にも参考になると思う。 そこで、地震対策について伺う。 (1) 役所が使用できなくなった場合、対策本部は消防署と聞いているが、仮役所をどのように考えているのか。 (2) 発電機、井戸水の点検はどうか。 (3) 救援物資の確保と保管場所はどうか。 (4) 在宅避難者には物資が分けてもらえない場合があると聞くが、在宅避難者への配慮はどうか。 (5) 大磯地区と国府地区の災害トイレの備蓄はどうか。 2. 石神台 J R 新幹線北側緑地の有効活用について 五洋建設からの寄付により、町は保存緑地として 9 年間管理している。今年に入り、湘南ベルマーレシクロクロス大会が行われた。民有農地は虫食い状態であると回答があったが、今後、公園にしていくのかなど有効活用をどのように考えているのか伺う。	町 長 町 長
1 0 6 番 奥津 勝子議員 (60 分) 14 : 05～15 : 05	1. 町の防災対策について 熊本地震発生より 2 ヶ月が経過した今でも地震活動は続いている。地殻変動により、我が地域を取り巻く活断層が動く危険性もあるのではと感じる中、町の防災対策について問う。 (1) 熊本地震に学ぶみなし仮設としての空き家・空き室の使用可能調査は。 (2) インフラ老朽対策（道路の空洞化）は。 (3) 防災井戸の現状と課題は。 (4) 各自主防災組織への運営費交付金の考え方は。 (5) 要支援者対策の進捗状況は。 (6) 津波、土砂ハザードマップの住民への周知は。	町 長

1 1 1 3 番 渡辺 順子議員 (90 分) 15 : 25～16 : 55	1. 障害者差別解消法の取り組みは 障害者差別解消法の 4 月施行を受け、本年 3 月定例会で本町の取り組みについて質問したところ、「平塚、秦野、伊勢原の 3 市と、二宮、大磯の 2 町が内閣府のモデル地域と選ばれているので、検討が始まっている。また職員の対応要領の準備をしているので 4 月以降明確になる。」という答弁であった。 (1) ヒアリングも行われたと聞いたが、その後の進捗はどうであるか。 (2) 職員の対応要領が配布されたが、具体的な取り組みについてはどうか。 2. 社会福祉法人大磯恒道会について、これまでの一般質問を踏まえて問う (1) 平成 26 年 12 月定例会での佐野部長の答弁から。 「平成 26 年 11 月 20 日、神奈川県労働委員会が大磯恒道会に出した命令を不服として、大磯恒道会が中央労働委員会へ再審査の申し立てを行った。」との答弁であった。この度中央労働委員会から、再審査の結果が出されたと聞いているがどのような内容であったか。 (2) 平成 28 年 3 月定例会での、職員の離職、介護サービスの低下や法人の運営についての町長答弁から 2 点。 ① 「町の職員が、神奈川県が実施したこゆるぎの里と恒道園の監査に同行して、適正な人員が配置されているかなどの確認を行った。」との答弁があった。どのような場合に県から監査を受けるのか。監査に至る経緯と監査内容、また、結果について。 ② 「法人に対して利用者の思いに配慮し丁重な対応を心がける必要がある事を認識して下さいと伝えてある。県と連携をとり、利用者の安全と継続利用が続けられるよう、法令を守った運営がされているかを確認し、介護保険事業所が継続できるよう対応する。」との答弁であった。この点についてこゆるぎの里と恒道園の状況はどうであるか。	町 長 町 長
--	---	-----------------------

1 1 名 2 3 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。